

射水市立作道小学校活動報告書

道の子ボランティア 2021

◆活動の取組状況

● にこにこあいさつ運動 (全校、生活委員会) (中学生、PTA 役員)

生活委員会や担当学年の児童が、毎月 25 日一緒に玄関前に立ち、登校する児童に挨拶をして、全校で元気な挨拶を心がけた。また、年に 2 回、中学生と PTA 役員の方と連携して合同挨拶運動を行った。

● 思いやりの花をさかせよう運動 (全校、生活委員会)

生活委員会が「あたたかい心になる言葉や行動」をイラストに表し掲示した。学期に 2 回「思いやりの花をさかせよう」週間を設定し、全校に呼びかけを行った。学級毎に「思いやりの花」を配布し、あたたかい心になる言葉を言ったり行動したりした場合に、花びらにシールを貼った。取組期間終了後、思いやりの木に各学級の花を咲かせ、全校で思いやりの心があふれている様子を共有した。一人一人が人の気持ちを考えて行動できる思いやりあふれる温かい学校になることを願って取り組んだ。

● エコキャップ回収 (全校、生活委員会)

12 月、家庭のペットボトルキャップの回収に取り組んだ。活動の目的を知らせたり、放送で呼びかけたりすることで、活動する意義を理解して活動することができた。

● ちょこっとボランティア (美化活動) (6 年生)

校舎内外の清掃活動を、6 年生がグループに分かれて取り組んだ。活動内容や計画は、6 年生が話し合って自分たちで考えて取り組んだ。



にこにこあいさつ運動



思いやりの花をさかせよう運動



ちょこっとボランティア

◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

- にこにこあいさつ運動は、初めは自分から声をかけるのは苦手だったけど、この活動を通して自ら挨拶することができるようになりました。1 年間取組を続けると初めよりも挨拶をする人が増えて、大きな声で挨拶が返ってきて嬉しかったです。
- 生活委員会が全校のお手本になるようにさわやかな挨拶を意識して挨拶をしました。明るい挨拶をすると自分も元気な気持ちになりました。
- 思いやりの花をさかせよう運動は、思いやりの心であふれる温かい学校になってほしいという思いを込めて全校で取り組みました。どの学級も花びらのシールが毎日増えていくので、見るたびにうれしい気持ちになりました。思いやりの木に学級の花が咲き、思いやりの心が学校中にあふれている様子が分かる活動なのでこのままずっと続けたいと思いました。
- ちょこっとボランティアは、6 年生全員が小学校への恩返し的心を込めて取り組みました。自分たちで取組場所や活動について話し合ったので、全員ががんばろうという気持ちでやり抜く事ができました。やり終えて、見違えるほどきれいになった場所を見ると、「やってよかった。」という気持ちになりました。

◆最後にひとこと (今後の抱負)

コロナウイルス感染拡大防止の影響で活動を縮小して取り組んだ一年間だった。そのような状況でも児童は、「自分たちの学校を自分たちの手でよりよくしていこう」という意識で様々な活動に取り組んだ。

個々の活動の目的や意義について事前に確認してから取り組んだことで、児童は自分たちの取組が学校生活の改善に結び付いていることを実感することができた。

来年度は、現在の活動を続けると共に、児童が自分事として切実感をもった課題を見付け、工夫して活動に取り組む姿を期待したい。